

須坂・高山地域における将来目標及び行動指針

1. 須坂地域

将来目標	行動指針
<p>I. 「地域住民が参加する公園（または地域）づくりをし、利用者も安心して楽しめる公園とする」</p> <p>須坂市の住民自身が国立公園の自然を地域の宝として意識できるようにするため、国立公園の管理運営に地域住民が参加します。そのうえで、公園来訪者にも安心して利用し、楽しめる国立公園とします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立公園のある須坂地域として、周辺地域関係者や地域住民参加の公園づくりを進めます。 2. 自分のいる位置が認識できるような区域の明示や標識を設置し、安心安全に、須坂地域の景観を楽しんで歩けるような整備を進めます。 3. 須坂市の国立公園全体を見渡して様々な課題に対応できる基盤（組織）作りをします。
<p>II. 「動植物、景観、水源の森林を守り、次世代に引き継ぐ」</p> <p>高山植物や県の天然記念物にも指定されている高山蝶などが生息し、四阿山・根子岳の山岳景観、五味池破風高原の池、植物、そして米子大瀑布などの景観も来訪者を楽しませています。また、国立公園の森林は大切な水源地ともなっています。これらの自然環境を将来にわたって引き継ぐことを目指します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高山植物の現状認識を深め、絶滅する恐れのある植物を保護してゆきます。 2. 関係者（行政、地域住民、ボランティア）で、笹刈りや登山道整備を行なうことで、景観の保全を図ります。 3. 範囲を決めて牛（羊）を放牧するなどの工夫をしながら、レンゲツツジの保全を図ります。 4. 国立公園の自然環境や水源地としての大切さを実感するために、須坂市全域の小学生とその保護者が現地でのボランティア活動に参加できるようにします。 5. 四阿山系として考え、群馬県側や上田市側とも連携して保全活動を進めます。 6. 鳥獣被害を及ぼす動物の実態把握に努め、改善するための対策を検討します。 7. 不法投棄防止に向けた対策を検討します。 8. 国立公園内の保護啓発や管理にあたる人材を育成します。
<p>III. 「国立公園の様々な情報を発信し、地域住民や利用者が、魅力ある国立公園であることを意識できるような公園を目指す」</p> <p>国立公園区域の位置情報をはじめ、自然環境や利用ルールの情報を積極的に発信し、地域住民や利用者にとって魅力ある国立公園であることを実感できるようにします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立公園であることが分かりやすい表示や看板を設置し、利用者が上信越高原国立公園に来たことを実感できるようにします。 2. 国立公園についての情報を地域（関係者間）で共有し、知識の向上を図り、それらを様々な情報媒体を活用して発信します。 3. 関係者が気づいた国立公園内の最新情報を、1箇所に集約し関係者に発信できる仕組みを作ります。 4. 地域の四季を通じた風景、動植物、観光情報などを、利用者に向けてわかりやすく発信します。 5. 利用ルールやマナーについて関係者で共通認識を持ち、それを利用者へも伝え意識の向上を図ります。

2. 高山地域

将来目標	行動指針
<p>I. 「美しい北信濃の山並みや渓谷、高原の風景、紅葉など、高山地域の自然の魅力が楽しめる公園とします」</p> <p>県境部に連なる 2,000m 級の山々や、松川とその諸支流が刻んでできた渓谷、渓谷に生える木々の紅葉、山田牧場などの高原の風景など、高山地域特有の自然の魅力が最大限に楽しめる公園を目指します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビューポイントの樹木伐採などを通し、松川渓谷沿いの勇壮な滝の眺望や、良好な遠景が楽しめる場所の保全と利用を図ります。 2. 既存のトレッキングコースの整備や、古道（旧草津道）の整備などを通し、気軽な散策から本格的な登山まで、高山地域の自然を歩いて楽しむための多様な環境づくりを推進します。 3. 森の体験プログラムや環境教育等のフィールドとしての活用促進により、自然を学びながら楽しめる環境づくりを進めます。 4. 山ノ内町など近隣の市町村とも連携しながら、エリア全体として魅力ある公園づくりを推進します。
<p>II. 「地元の関係者と利用者との間で公園利用に関するルールを共有し、誰もが気持ちよく利用できる公園を目指します」</p> <p>不法投棄や貴重な植物の採取などの撲滅に向け、地元の関係者で共有認識を持つとともに、利用者にも理解を求め、利用マナーの向上を図り、誰もが気持ちよく利用できる公園を目指します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然公園利用のルールやマナーについて、利用者への周知を図ります。 2. 自然公園利用のルールやマナーを守る意識の醸成に向け、国立公園内における清掃活動や環境保全活動などについて、積極的に発信します。 3. 不法投棄や植物の盗掘防止に向け、森林のパトロールを今後も継続的に実施するとともに、監視員の配置なども検討していきます。 4. 監視中のステッカーの作成や配布について、検討していきます。 5. 紅葉シーズンなどの混雑時においては、マイカー規制の導入など混雑を緩和する方策について検討していきます。
<p>III. 「高山地域の優れた自然環境や、人の手により守られてきた美しい村の景観を、次世代に引き継ぎます」</p> <p>地域の優れた自然環境や、かつて間伐や炭焼きなどの人間活動により維持されてきた里山の景観を保全し、次世代に引き継ぎます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 松川については、水力発電の水源として有効活用を図るとともに、酸性水の水質保全について今後も有効な対策について検討し、実施していきます。 2. 柞沢川や鎌田川は、貴重な水源としての保全を進めます。 3. ホタルの群生地など貴重な動植物の生息・生育地の保全を進めます。 4. 子どもたちを対象とした環境学習プログラムの実施などを通し、自然を大切にする心を育てます。 5. 地域の生態系や景観に影響を及ぼすと考えられる外来種の駆除について、検討していきます。 6. 森林のバイオマスとしての活用など、今の暮らしに合った資源の活用を推進するとともに、学習での活用（間伐体験や炭焼き体験など）を通じて里山の文化を伝えることで、人の手が入ることで維持されてきた森林景観の保全に努めます。